

令和2年度 名取支援学校 学校評価報告書

1 本年度の学校評価について

(1) 全体評価より

本年度の学校評価は、各項目について「4：はい，3：どちらかといえばはい，2：どちらかといえばいいえ，1：いいえ」の4点満点で評価を行い，職員，保護者対象のアンケートの全校平均は（3.46）と高い数値となった。また，前年度比は，保護者アンケートは（-0.02），職員アンケートは（-0.05）となり，大きな変化はなかった。

(2) 保護者評価より

保護者評価では，全体平均（3.46）と高い評価を得た。

各項目の中で全校平均が低かったのは以下の通り。

（3.28）となったのが「6：本校では，職員間の学部を越えた学び合いの充実と連携が図れていると思いますか。」。

（3.31）となったのが「5：本校では，各教科を意識した系統的な指導の実践と学習評価がなされていると思いますか。」と「7：本校では，個々の職員にとって必要な研修が実施されていると思いますか。」，「9：本校では，学部の特色を生かした地域との関わりづくりが図られていると思いますか。」

(3) 職員評価より

職員評価の全体平均においても（3.46）と高い評価を得たが，各項目の中で全校平均が（3.3未満）と低くなったのが以下の通り。

「11：学部を越えた学び合いの充実と連携が図れている。」と「14：学部の特色を生かした地域との関わりづくりが図られている。」が（3.10）。

「4：教育目標等について保護者に説明する機会が設定され，分かりやすく説明されている。」が（3.15）。

「10：各教科を意識した指導の実践と学習評価がなされている。」が（3.16）。

「15：地域と連携した安全・安心な学校体制の強化が図られている。」と「26：互いに協力して円滑なPTA活動が行われている。」（3.17）。

「12：個々の職員にとってのニーズに応じた研修が実施されている。」（3.24）であった。

(4) 改善策

保護者評価，職員評価とも共通して低かったのが，「職員間の学部を越えた学び合いの充実と連携が図られているか。」，「各教科を意識した指導の実践と学習評価がなされているか。」，「個々の教員にとって必要な研修が実施されているか。」であった。

これを受け，改善を図るために，以下のように取り組んでいく。

- ①「学びに向かう力，人間性等」の育成と「主体的に取り組む態度」の学習評価を視点とした授業研究と授業改善。
- ②職員のICT活用能力の向上とICTを活用した授業実践の推進。
- ③校内研修野の実施の方法と研修会動画の共有による個の研修ニーズへの対応。

これらの内容を軸に、日々の授業実践、研修を重ねることにより、職員の専門性の向上を図り、適切な指導の実践・学習評価ができるように進めていく。

また、「地域との関わりづくり」や「地域と連携した安全・安心な学校体制」、「円滑なPTA活動」については、今年度は新型コロナウイルス感染症対策等で地域との交流行事やPTA行事が中止になり、新しい生活様式による活動制限などがあったことが低くなった要因として考えられる。

改善策としては、以下のように取り組んでいく。

- ①感染症予防対策の継続と実施。
- ②緊急時対応マニュアル0動画を活用した保護者や地域に対する教育活動の周知及び啓発。
- ③消防署や高館小と連携した緊急時対応訓練の計画と実施。
- ④地域の人材、資源を活用した教育活動の再構築と実践。

以上の内容を中心に、保護者や地域・関係機関との協力・連携の強化を図っていく。

2 その他

学校評価全体会で今年度の学校評価・反省を踏まえた学校重点努力目標の具現化に向けた話し合いを行った。次年度の重点努力目標は、それらの話し合いの内容を生かした目標となっている。